

【北海道農業に憧れて】

夫の卓也さんと義父の正一さん、義母の由美子さんの4人で約13^畧の農地に米や小麦、ハクサイ、スイートコーン、落花生などを栽培しています。

千葉県出身で東京都の大学を卒業後、都内の会社に勤めていましたが、北海道で酪農実習をしていた友人から届いたハガキをきっかけに北海道へ来ることを決意しました。上川郡新得町で農業について学び、「農婚塾」で出会った卓也さんとの結婚を機に現在は岩見沢市北村で農業に従事しています。

農業に 懸ける 情熱

女性部活動で作成したリース

「北の大地で農業に従事」

「大学を卒業して都内の会社に12年間勤めていました。満員電車に揺られながら通勤する日々嫌気が差していたところ、北海道で酪農実習をしていた友人から、毎日北海道で牛の乳絞りをしていますとハガキが届き、私も自然豊かな北の大地で伸び伸びと仕事がしたいと思ったことをきっかけに北海道に来ました。上川郡新得町の女性専用農業体験実習施設レディースファームスクールで1年間酪農や畑作などについて学び、その後、新得町の農家や農業試験場で仕事をしながら自宅の小さな畑で野菜を栽培していました」と話す由布子さん。

「農婚塾」の参加を勧められ、岩見沢市で農業を営む卓也さんとお会いして結婚しました。「結婚当初は、岩見沢市に友人や知人はいませんでしたが、女性部大富支部のフレッシュミズに加入したことで、農家の奥さん方との交友関係が広がりました。農業のことや岩見沢市の暮らしのことなど、幅広く親切に教えていただき、充実した農業ライフを過ごすことができていると思います。また、今年は女性部大富支部の副支部長に就任したので、日帰り研修や料理講習会など活発な事業を行い、仲間たちの交流の場を充実させていきたいと考えています」と話してくれました。

最後に「夫や義父母、女性部の仲間たちに支えられ、憧れだった北海道の暮らしを楽しんでいます。北海道の良いところは、農作業中ふと周りを見渡すと、広い空や大きな山、鳥の声など日々の光景に自然が広がっていることです。大自然の中で毎日ストレスなく仕事できるのが私の生きがいにつながっています」と農業に懸ける想いを話してくれました。

岩見沢市北村豊正
坂井 由布子 さん